

連携自治体紹介シート

自治体名	利尻富士町
自治体の概要	<p>利尻富士町は、北海道稚内市より西方へ 52 km の日本海上に位置し、日本最北の秀峰・利尻山 (1,721m) を中心にして西部は利尻町と接し、2 町で 1 島を構成する円錐状の島です。</p> <p>面積は 105.62 km² で利尻島のおよそ 60% を占め、本島の北西に位置する礼文島及び本土のサロベツ原野とともに昭和 49 年に「利尻礼文サロベツ国立公園」に指定されています。</p> <p>気候は、日本海側に位置するため対馬暖流の影響を受け、本道の内陸の気候と比べると比較的温暖ですが、冬季は北西の季節風が強く、典型的な北方離島特有の自然条件下にあります。</p> <p>集落は、鴛泊及び鬼脇市街を中心に大小 20 地域となっており、海岸線に沿って点在し、近年は市街地に著しく人口が集中する傾向になっています。</p> <p>令和 2 年の国勢調査人口は 2,458 人で、昭和 30 年の 11,234 人をピークとして、8 割近く減少し、人口動態では若年層の減少が続く中で、高齢化率は 38.3% と離島特有の社会構造となっています。</p>
アクセス方法	<p>空路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港⇒新千歳空港 (約 1 時間 30 分) ⇒丘珠空港 (約 1 時間) ⇒利尻空港 (通年運航 約 55 分) total 約 3 時間 25 分 ・羽田空港⇒新千歳空港 (約 1 時間 30 分) ⇒利尻空港 (6 月～9 月季節運航 約 50 分) total 約 2 時間 20 分 <p>航路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港⇒稚内空港 (空路 約 1 時間 50 分) ⇒稚内港 (約 1 時間) ⇒鴛泊港 (航路 約 1 時間 40 分) total 約 4 時間 30 分 <p>朝 10 時に東京を出ても夕方には到着できる、実はアクセス抜群の利尻島。</p>
主な特色 PR ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・何とんでも利尻山。 利尻島の真ん中にそびえ立ち、その高さは 1,721m で日本百名山では北の秀峰として 1 番目に数えられています。 別名「利尻富士」の愛称で親しまれており、年間約 9 千人の登山者が訪れています。 ・基幹産業は水産業と観光業。 「利尻昆布」や「ウニ」「アワビ」などの海産物が豊富であり、特に利尻昆布はダシ昆布の最高級ブランドとして関西の料亭等で消費されています。 高山植物や利尻島の固有種を見ることができ、最近ではシーカヤックやバクントリーなども楽しめる、年間約 14 万人の観光客が訪れる観光地。
主な地域課題	<p>日本では 2008 年をピークに総人口が減少に転じており、すでに人口減少時代に突入しています。</p> <p>人口減少に伴い、労働力の根幹をなす「生産年齢人口」の減少による経済規模の縮小が日本各地で問題となり始めているが、利尻富士町においても例外ではなく、むしろ北方離島という厳しい条件下では、若年層の島外流出による「働き手不足問題」が加速度的に進展し深刻な問題となっていることから、早急に対策に取り組まなければならない状況になっています。</p>